

JAIG - NEWS

No. 14

Mai 1988

去る 3月19日, 20日, HB9, F BUDLとの国境に近い Freiburgの郊外 Denzlingen
で 88年のJAIG-Meetingが開催されました。3月よくなりました Schwarzwald
に 2m 程度の積雪が残っていました。ライン河畔のこの町 Denzlingenは春, 花が
咲き始められました。なる程 Baden地方の Weinの産地で美酒の同好者は
たいてい3でした。

会場は, 2 Gasthaus Hirschenは Autobahnの便の良い地に位置し
HB9から まさきにせよついで 矢倉OM (DL/N16HKA)が 大会場には到着
その後 524から 中山OM (524WB/JR1SWB)が Frankfurt/MI 小松OM (DC/FM)
と共に着いた。別添の参加者リストの按じ多数の出席をみたことである。
是等は この地にもある特異な短波ビームの放射製造している OM Sommer
(D)2UT)の実験場を見学しました。

今回の Meetingは 試験的に Wimmigen まで行かれたにも関わらず 地はハン
ブルグ HB9のグループ (DJ/LIL) であり Fからプルサに所属する 松岡OM
(FD1MUY) である。一応成功であったと思っております。そして 中山OMの参加
すれば 我々 JAIGのグループは DL.1.1 とどまらず EU 全般 AF へも必然
的に国際化している事があるがわさります。

又 我々と親交を深めたいと思われた DLの Hamの 自発的参加 には
JAIG グループ 発展の爲の協力の申し出を、我々が 常に居る。日
外例の地にもあり、日本人のこの強固な立場を、深く 相互に理解した
との意図から 何んとも 心強。出来事と思っております。

我々のこの Meetingの Newsは 去る 4月10日に Baden地方の地域ラジオ
で放送されました。その翌週後は DARCの公式ニュースに DLに 流さ
れた事は 皆指し所さるべき事と思っております。

お断りに書かれたお断りの文を掲載いたしました。

又、CQ DLへ発表の原稿も同時に示しております。

いはれもDLのHam, Dk9UA, DL5SCC 等の協力はありがとうございます。

余談に割りますが、このDARCのNewsが流れた後、小まめに電話

あつは手紙で、私共のグループの活動状況等についての問合せがあり

又将来の協力の申し入れ等々、及知ウの大きさに感動しております。

21.360 MHz 08.00UTC (17.00JST) 毎週日曜日

私共のアクティビティを高める事と計画中のアワード取得の為の条件の提供あつは

将来 JAIG-NETの可能性とさぐり意、この周波数、この時刻にQRVする事を

申し合えました。DL圏内はスキップ? 11550無理かと思つたが、この時刻は

良くJAIL+、AFIL+あつはG, SK, OH等、地方も楽しめます。

12.00UTC頃は最近JAとWが同時に入感します。

とくに試験的に皆さんQRVして下さい。

JAIG-AWARD

懸望のアワードについて話し合つた内容がようやく煮つまつた。

ドイツ語と日本語版案を取りあつた。ここに発表し、このドイツ語版

をもつてDARCのアワード審査委員会に工数OM (DL/JA7SDQ) を通し提出済

みです。これはDL会式の権威あるものとして、各秋の委員会にかけられ

る由であります。図案はDL-JAの友好を象徴する二つの色と12.00UTCの時刻が

アワードとあはせよう。

記念写真でも理解いたしてあげたいと思つたが、私共のMeetingは深夜まで続きます。

ドイツ語と日本語の両方日本人ドイツ語で話しあつても、英語で話し合つた場合は日本に

あつは到底意味が通じない。このHamに困る事と深く感じさせました。

翌日はこの近くにあるDLのテレビ連続番組で、Schwarzwald klinik

の舞台で、Glottental klinik を散歩がてら見学、昼壇 Freiburg の駅

から次の団会を約、各自帰途につく予定です。



1988年「インター」の際の記念写真です。
 Erinnerungsfoto bei JA1G-Treffen 88 in Denzlingen

"JAICG" '88 親和会.

日時 1988年3月19-20日
会場 Gasthof "Hirschen"
Denzingen bei Freilburg

出席者

DJ0UL 北村 創 Hajime Matsumura

矢倉 丹 JI6HKA

DJ0MBB 中野 一夫 JASLIL

DJ0AAV 青芳 尚文 JH1PKN

DK9LA/7J1ADW 森尊 要田 江戸 豊 Ego. Kazumasa - Okada
(C302E4)

DD5FR 毛利 洋一 澄子

DJ0YM ex JA3XKJ

宝賀 裕一

DJ1QV

Hubert

龍田 楊子

小松 美佐子

小松 豊昭

DC0FM JA0CQP

DJ2J

Hans

DOK A16

DJ0ER

長倉 正栄

DJ2UT

5Z4WB

JR1SWB

中山 新康

DD5KJ

JN1UUJ

岩崎 美恵子

JA750Q

Kenju Kudo / Jutta Romanowski

DLSSCC

Mahrood Silvia Noiz (XYL)

DG4SAB Achim Noiz

DF2CW

Kumiko Ito 廣政 邦孝

FD1MUJ

F/5F1SAG

松岡 良樹

前田

少しづつ日が長くなって、春が近づいて来ます。

その後、いなかが過ごせませんか？

2月20日に自宅(横浜)にもどり、引越しの荷物はまだまだ残っています。家内と、二度と引越しいやだね、と話し合っています。

85年9月16日より、DJØKEでOn airを開始し、87年12月19日にQRTするまでの間に、約5500局とQSOし、155カントリーでした。

日本へ帰って来たら、まだ本格的にはOn airしていません。

どうや、3月5日にバッテリーのHF-6V (HF帯のマルチバンドバルブ)を購入しました。X'miterがNGとほめてくれました。Rev/Xmitの交換用レド? 3月下旬には修理工の予定で、WW WPX SSBより本格的に始める様、整備中です。

PacketもOn air可能ですので、出来ることからDJØER長倉OMとEChatしてみたいと考えています。

是非2MHzでのSKDでQSOして下さいね。

3月19日20日にJAIGのミーティングとつながっていますが、今年からは参加するチャンスが無くほめてくれました。残念!!

参加されるメンバーの皆さんによくお伝え下さい。

そのうちに、東京中のJAIG OB会とも計画しましょうか?!

下記の住所と電話番号にはお呼びです。日本へ出張又は一時帰国の際は、御一報下さい。

VJ 73 de JA9IFF/DJØKE

中嶋 康久

Taizo Arakawa, N2ATT

Ramsey, March 12, 1988

DF2CW, 巻岐OM,

お便りありがとうございます。JAIGのミーティングの案内(JAIG NEWS No.13)も受け取りました。残念ながらそれには出席出来ませんが、ご出席の皆様によりしくお伝え下さい。先日Geneveにご滞在中のDLØUL, 松村OMからもお便りを頂きました。14MHzでスケジュールをとの事ですので、OMとのスケジュール、14.250MHz、日曜日、14:30UTCを連絡したいと思っています。この周波数、先週はコンテストのQRRLでNG、今週はローカルのフリーマーケットにでかけますのでまただめと、なかなかQSO出来ませんが、今後トライしますのでよろしくお願致します。

21.360MHzのJANETは、土曜日の22.00UTCに、KD6IH, 山本さんのネットコントロールが続いてはいますが、コンディションがまだ不安定で、むしろKB8VA, 純子さんがネットコントロールをしておられる7.228MHzの、日曜日、15:00UTCからのネットの方が確実にアクティブです。

JAIGのネットFBですね。周波数はともかくとして、ぜひ設定して下さい。もし東海岸からも適当な時間で、バンドが開けるようであれば、多くのJANETメンバーがチェックインすることと思います。

JANETクラブ入会申し込み書を同封しますので、コピーしてご使用下さい。N2JA, 塚本さんに送って頂ければOKです。ただ今、『JANET NEWS』第6号の原稿を集めていますので、このほうはN2ATF, 小林OM宛にお送り下さい。

最近ニューヨークでは、KD2YH, 塩崎OMが、144.920MHzのJANET周波数で、パケットBBSを始められ、メンバーがそれにアクセスして楽しんでいきます。

それでは、ミーティングのご成功と、JAIGの皆様のご健康をお祈り致します。

73

de N2ATT, 荒川泰蔵

巻岐のミーティングに際し、荒川OMと中嶋OMから挨拶と
御礼の封筒を参考にする為、12月紹介致し致す。

JAIG アワード(案)

(Japanese Version)

在独日本人ハムと日本語を話しあひは日本人と深い交友関係にあるDLのハムが構成されているグループJAIGは 次の称号条件でアワードを発行します。

このアワードの目的はDL在独の日本人ハムがDLのハムとの友好を深めることにありま。

このアワードは免許された無線局、免許人だけが SWLにも発行され1985年1月1日以降の交信を認めま。

アワードの条件は地域により 次の様に区分されま。

1) JAのハムに対処条件

JAIGメンバー1局 BU DLの20の異なるDOKの局と交信する。

2) DLのハムに対処条件

JAIGメンバー1局 BU JAの各2-1Vエリアから2局より交信する

3) JA BU DL以外のハムに対処条件

JAIGメンバー1局 BU JAの各2-1Vエリアから1局より、DLの10の異なるDOKの局と交信する。

SWLに発行は上記の条件を満足したのみ交信のみを対象とする

DJの写しに許可された無線局免許人2名の認証を得 アワードマネージャーに送付の事。

JAIGメンバーのリストは アワードマネージャーに請求する。

現在のメンバーは次の通り

アワードの申請料は DM

又は

IRCS.

アワードマネージャー :

J A I G - D I P L O M

(Versäuf)

(ドイツ語版)

Die Gruppe JAIG (Japanese Amateurs In Germany), die Vereinigung japanischer Funkamateure in Deutschland und japanisch sprechender deutscher Funkamateure, stiftet unter folgenden Bedingungen ein Diplom.

Ziel der Gruppe ist die Förderung der Freundschaft zwischen japanischen und deutschen YLs und OMs, insbesondere mit den in Deutschland lebenden Japanern.

Das Diplom kann sowohl von lizenzierten Amateuren als auch von SWLs erworben werden. Es sind alle Betriebsarten und Bänder zugelassen und alle Verbindungen ab 1.1.85 werden anerkannt.

Die Bedingungen unterscheiden sich je nach Standort des Antragstellers wie folgt:

1. Japanische Stationen:
Eine Verbindung mit einem JAIG-Mitglied, sowie Verbindungen mit 20 verschiedenen DOKs.
2. Deutsche Stationen:
Eine Verbindung mit einem JAIG-Mitglied, sowie je 2 Verbindungen mit den 10 japanischen Rufzeichen-Distrikten (Call-Area).
3. Stationen außerhalb von JA und DL
Eine Verbindung mit einem JAIG-Mitglied, sowie Verbindung mit 10 verschiedenen DOKs und je 1 Verbindung mit je einem der 10 japanischen Rufzeichen-Distrikte (Call-Area).

Für SWLs gilt sinngemäß die Empfangs-Bestätigung der o.g. Verbindungen. Anstelle von QSL-Karten genügt die Bestätigung des Logbuchauszugs durch zwei Funkamateure.

Die Liste der JAIG-Mitglieder ist erhältlich beim Award-Manager.
Derzeitiger Mitgliedsstand:

Die Diplomgebühr beträgt DM oder IRC.

Anträge sind zu richten an den Award-Manager:

注。

87年2月-迄、資料、1000円程度未定額計
JAIG 日本-120円 野取部計、2500円 27年 5月迄-迄計。

Am 19. 3. 1988 fand in Denzlingen bei Freiburg in Zusammenarbeit mit dem Ortsverband A 16 Emmendingen das vierte Treffen der Japanischen Funkamateure in Deutschland (JAIG) statt. Die JAIG ist eine lockere Vereinigung japanischer Funkamateure, die sich darum bemüht, persönliche Kontakte untereinander und zu deutschen Funkamateuren zu knüpfen.

表紙の標子は左の標に4月10日
にDLφIM/p(0V Banden)を
以て3,655MHz, 10,00MHzに就
て送られた。
その2週間後DARCからの試
=2-26に下記の報告内容
のためDL全国に流され
た。

Der Leiter der Gruppe, OM Kunihiko Iki (DF2CW/JA7HM), lädt zu den künftig in Deutschland stattfindenden Treffen alle interessierte deutsche YLs und OM recht herzlich ein. Einzelne Amateure und OV's, die an einer Zusammenarbeit oder an Kontakten interessiert sind, wenden sich bitte an DF2CW, Kunihiko Iki,

. Die Tatsache, daß ein OM extra für dieses Wochendende aus Kenia angereist ist, zeigt deutlich, daß es bei diesen Treffen nicht langweilig zugeht.

OM Kunihiko versichert, daß auch Deutsch gesprochen wird.

vy 73 de DF2CW (JA7HM), DL5SCC, DD5FR und DK9UA (7J1ADW).

Betr.: DL-JA: Treffen

*** Denzlingen:

Das 4. Treffen der japanischen Funkamateure in Deutschland fand am 19. 3. in Denzlingen bei Freiburg statt. Die Vereinigung japanischer Funkamateure JAIG bemüht sich um persönliche Kontakte ihrer Mitglieder untereinander und zu deutschen Funkamateuren. Um diese Kontakte auszuweiten, sollen künftig alle interessierten deutschen YLs und OMs eingeladen werden. Funkamateure und Ortsverbände, die an einer Zusammenarbeit oder an Kontakten interessiert sind, werden gebeten, sich an den Leiter der Gruppe zu wenden. Seine Anschrift lautet: Kunihiko Iki, DF2CW/JA7HM,

DF2CW weist ausdruecklich darauf hin, dass bei diesen Treffen selbstverstaendlich auch Deutsch gesprochen werde.

CO DLに発表する記事は下記の通り、DQ4SABのついで白紙の字集と共に彼を通じ、
編集部の方に送付済みです。

Am 19.3.88 fand in Denzlingen bei Freiburg in Zusammenarbeit mit dem OV-Emmendingen (DOK-A16) das vierte Treffen der japanischen Funkamateure in Deutschland (JAIG-Japanese Amateurs In Germany) statt.

Die Gruppe JAIG wurde im Februar 1985 in Winnigen bei Koblenz gegründet. Seitdem finden zu dieser Jahreszeit regelmäßige Treffen statt.

Nach der Statistik sind in DL derzeit 67 Lizenzen an Japaner erteilt, wovon ca. 20 Stationen aktiv sind. Die Tendenz der Lizenzanträge japanischer Funkamateure in DL ist steigend durch die immer enger werdenden Beziehungen auf den Sektoren Wirtschaft, Wissenschaft und Kultur.

Der Größte Teil unserer Freunde aus JA bleibt relativ kurze Zeit hier, wobei wenig Möglichkeiten bestehen, mit deutschen Funkamateuren in näheren Kontakt zu treten. Daher ist die Gruppe JAIG bestrebt, nicht nur die Beziehungen und Freundschaften unter Japanern zu fördern, sondern auch mit gleichgesinnten Deutschen.

Der Organisator der Gruppe, OM Kuni Iki (DF2CW/JA7HM), lädt zu den künftigen Treffen in DL alle interessierten deutschen und japanischen YLs und OMs ein. Einzelne Amateure und OV's, die an einer Zusammenarbeit oder an Kontakten interessiert sind, können sich an DF2CW, wenden.

AKTIVITÄT

- DD5KJ (岩崎) 小松OMの手伝い YAGI-ANTのバルブは-12付きました 2mが飛ぶ
標高がたまたまとて
- DD5FR (澄子) DLでラジオ取組. お琴と古花をドイツ人に教えています
- DL5SCC (Silvia) 日本語がとて上手で、ハムを通じた練習をしています
- DLJA7SOQ (I後) HiFi. ハムを通じて、FOTOに一生懸命
- DJφYM (皇賢) RTTYとAMTOR, FOTOにも興味を持っています. ワインは飲めばもう200??
- DL/JI6HKA (大島) HB9在住, 自作派のハムで 相互運用協定の成立を待っています.
- 524WB (中山) 今からQRVまで ハムをさばるかに大変で 熟練を要するぞい.
- FD1MUY (松岡) 普通は電波の飛ぶ大空をグライダーで7昇を見ているぞい.
パラグライダーもやるとか XYLのOKの虫の鳴き声 NGでぞい.
- DJφER (長倉) PACKET, AMTOR, CD AUDIO などに手ごころの日本料理 伝授もぞい.
- DJφMBB (中野) 夜寝るぞい帰国してきて DLからはとてアクティブぞい. 姫路市
からFBをお声かけの事を期待しています.
- DJφAAV (青芽) もう8年ほど フライイングの大学で Hamには興味ある. 学向は専念しています.
- DK9UA (Edger) 日本語でお話出来るぞい FOTO, Computer などに合気道もやっています.
- DCφFM (小松) サテライト通信に力を入れています. 自作派で Sat 通信用の器材
展開路をすすめています.
- DJ2UT (Alf) 有名なDJ2UTというの発明者で ミニマーケットの店に近くに住んで
います. 下町の効果を説明するときは熱が入ります
- DJ1QV (Hubert) 地域クラブ OV Emmendingenの会長, 昔船舶通信のF5L
にCWマン
- DL2IJ (Frank) OV EmmendingenのQSLマネージャー, 2-10サイバがすお標
にDLの大OMの一人です.
- DJφUL (松村) ハンカレッジからHB9のジュネブル転勤 して 4U1ITUを
ホームシャック代わりに使っています.
- DF2CW (徳波) 2ndと一緒 色々ハイエリオンを飛ばすに行きます. 10日週末に
は忘れずにシャックにすわりのJA相手に日本語の交換もしています.

本日も、皆様から寄付金をいただきました。

7月-70の雑誌とJAIG-NEWS 発行の為、有意義に使わせて
いただく事を、この布礼を申し上げます。

de DCΦFM, DF2CW

JAIG-NEWS No13は内容が"Meeting開催の案内に4000
の?" 誌と"DLとその近郊在住の方々のための雑誌"。
お返せのりにならなければ、この布礼を理由から2500?"
と1000?" 布了承ります。

本日のMeetingの開催にあたり、このed. Deutschling 12
お返しのDJΦER 布礼事に言及の布礼が列挙した。

この紙面を借りて JAIG 72バ - 同社"の布礼申し上げます。

de DF2CW &
JAIG-Gruppe

1988年4月22日
この度、宅校OMよりJAとHB9間の相互運用協定に関する原稿の依頼を受けましたので、荷越ながらここに問題点を記し諸OMの御理解に供する次第です。

ご承知の通り、昭和5年に日本では電波法の一部改正が行われ、それに伴い他国との間に相互運用協定が合意に達した場合には、日本人OMも外国において電波を出せることになり、現在までのところ日本の相互運用合意の相手国は以下の5カ国となっております。

- アメリカ合衆国 (昭和60年合意)
- 西ドイツ (昭和61年合意)
- カナダ (昭和61年合意)
- オーストラリア (昭和62年合意)
- フランス (昭和62年合意)

上記の諸国以外に現在正式の事務折衝が行われている相手国にニュージーランドおよびイスがあります。イスはすでに世界28カ国と相互運用協定を締結するに到っておりますが、スイス側PTT担当者によりまして、8年前にPTT内の人事移動がありその際前任者より日本との事務折衝が続いているという申し送り事項があったとの事で、それから考えると、日本との折衝は実に8年以上の長期に渡っていることとなります。

それではいったい何が合意を妨げる障害になっているかと言いますと、問題はつぎの3点に要約できるのではないかと思います。

1. 資格の対応
2. アンテナ等に関する試験の実施
3. 使用言語の制限

まず資格の対応についてですが、スイスのアマチュア無線従事者の資格はおおよそ次の様

| アマチュア無線の資格 | 空中線電力 | 電波の形式 | 許容周波数帯 |
|------------|-------|---------|----------|
| 1 | 200W | 全て | アマ用全周波数 |
| 2 | 1000W | 全て | アマ用全周波数 |
| 3 | 200W | CWを除く全て | 144MHz以上 |
| 4 | 1000W | CWを除く全て | 144MHz以上 |

スイスの免許は電波の形式並びに許容運用周波数帯を無線局免許状で固定しない、いわゆる包括免許となっており、空中線電力も日本と大きな違いがあり、両国のお互いの資格をどのようにマッチさせざるべきか難しいところではあります。

次にアンテナ等に関する試験についてですが、電波法にもとずき、スイスにおける全ての無線局はアンテナ、給電線、避雷針およびアースの新設及び変更工事を行う場合には監督局への届け出の義務があり、工事終了後検査を受けなければならないことになっております。アンテナ等の変更工事は業務用無線局においてはまねにしかおこなわれませんが、アマチュア無線局においてはその性格上極めてしばしばおこなわれます。そこでアマチュア無線従事者がアンテナ等に関する電波法規の簡単な試験を受けることになっており、合格した場合には変更工事の度ごとの届出義務及び検査手続きが省略され、したがって新設、変更の工事が自由に行えるようになっております。この試験制度は結果的にアマチュア無線局の受ける利益が大きくなり、アマチュア無線従事者の強い要望により導入されたといえるべきです。この試験は現在外国人を含む全てのアマチュア無線従事者を実施されており、試験時間は10分間で、すでに与えられている回答の中から正解を選択するやり方で70%以上の正解をもって合格となります。元来日本にはこの様な試験制度がありませんので、日本側の交渉担当者は日本人がスイスにおいてこの様な試験を受けなければならないというの、相互主義の建前から不合理であると考えているようです。

次に使用言語の制限についてですが、スイスでは電波法により無線局運用上の使用言語はスイスの公用語であるドイツ語、フランス語、イタリア語およびロマンス語と定められ、アマチュア無線にはそれ以外に英語とスペイン語の使用が認められております。日本側はこれに対し、日本では外国人アマチュア無線従事者の使用言語については何ら制限をしていないが、日本人はスイスにおいて日本語を使用することが出来なければ、相互主義を確保する上でこの制限は重大である、との認識に立っております。

両国間のネックになっている諸点は以上のとおりですが、昨年に郵政省電波管理局の担当係官がスイスに来られ、スイス側との直接交渉にあられた際の一番の問題点はこの日本語の制限にあったようです。スイス側としては交信内容のワッチは電波管理上不可欠であるとしており、日本語の使用制限はゆるぎないようです。

両国共折れる所は折れて、もうこれ以上只いたらずに年月を無駄に費やすことなく、相互協定が一日も早く合意に達することを切望する次第です。

以上

JR1UTX
小川 恭平
EX DJCFN
1978-04-21

お元気で活躍のことと
思います。一、生任期満了にて4月
始めにあわただしく帰国いたし
ました。滞独中お目にかかる機
会迄ご真念に思っています。帰国後
とりあえずDPを張り21MHzに出
てみましたか(CW)お相手は摩らUAD
です。そのうち14MHzでもおますの
うしたらお空でお会いでもすか
も知れませぬ。Mit freundlichen
Grüßen
Uyohu G.

DJCFNの21MHz DLからアプタイブになった小川OMが帰国されました。
JAの活躍を期待します。

Postkarte



Herrn

F. R. Germany



OHNE KOMMENTER! (巻の邦誌, III/13, 1988年4月号から)

本当の暮しとは

父親の海外勤務で連れられていった、いわゆる海外帰国子女をかかえた家庭の相談にのっている女性グループが、この冬、父と子の座談風シンポジウムを開いた。

父親が口火を切った。「向うでは文字どおり一家の大黒柱でしたよ。私がいなければ、家族は身動きできない。妻も柔順でした。子供も頼りにしてくれました」

大学生に成長した子供たちは「父と一緒の時間があんなに長かったときはなかった」「なるほど父の仕事は大変なんだなとわかった」と、体験を語る。

「帰国したら亭主はいないほうがよい。粗大ゴミ扱い」「子供も自由に歩けるから寄りつきもしない」と父親は、また父親失態に逆もどりのことを嘆きながらも、言葉のはしはしに、海外勤務時代に束の間味わった家庭の絆を懐かしんでいるように聞こえた。

異文化のなかに放り出された形で、一家が肩寄せあって生きていかなければならない。とはいえ、これが本来の家族の姿ではないのか。先進国勤務では、自動車がないと暮せない。父はドライバーとして欠かせない。上曜日の買い出しも、父が主役だ。銀行から生活費をおろすのも、小切手が切れる父の役目になる。学校の宿題も、父の語学力が必要だ。妻も子も、父を見直す。

それに、父も午前様にならない。土、日は休みだ。休暇シーズンもきちんと休む。なにしろ、社会の仕組みがそりなのだから家庭にいる時間も、小旅行の機会も多くなる。これが本当の暮し、生活だな、と父も妻も子も、感じるようになる。

いったい、日本での暮しはなんだったのか。

妻は、地元の客にしろ、日本からの来訪者にしろ、自宅でもてなすからには、夫から客の好みや人柄を聞き、相談しなくてはならない。子供の役割分担もある。パーベキューの肉焼きとか飲み物の出し方とかで一家が話し合い、心がつながる。

シンポジウムで父親は語った。「今は残業で早く帰れない。付き合いゴルフで、日曜日にも家にいない」日本社会に戻った父親たちの逆カルチャーショックのほうが、海外帰国子女の悩みより大きいかもしれない。しばらくは、職場で疎外感を味わう。また日本流に慣れるのだろうか、こういう本物の家族の味を覚えた一家が増えることが、日本の世界化につながるのではなからうか。

男性の立場から観察すると、海外暮しの長い家族では、早く日本の職場に戻りたいと秘かに考えている夫に比べ、嫁姑のしがらみやしきたりから離れ、自立する喜びを知った妻たちは、外国にもっといたいと望むようになる。子供、なかでも娘たちも、性差別が少ない社会と自立した外国女性を見て、日本には戻りたくないと思う。日本の企業は、こうして日本離れする人間を作り出していく。案外、味な役割をはたしているのかもしれない。(青木 公)

YASUHISA NAKAJIMA

F. R. GERMANY

ケニア旅行記

今年の夏休みを利用して、ケニアのナイロビに行ってきました。

ナイロビにはみよごんご存じのJR1SWB/5Z4WB 中山OMが居られ、日本からのJAMSATのメンバーを含め総勢8名のサファリツアーのアレンジをしてくれました。

ナイロビと言えば赤道直下にあるため常夏のところというイメージがありますが、海拔1700mに位置し南半球側でもあることから、この時期は一年中で一番寒い季節に当り、長袖のジャケットが無いと寒い思いをします。まさに百聞は一見に如かず、といったところです。

サファリツアーと言うと、日本のサファリランド等を思い浮かべてしまいがちですが、自然保護公園一つが日本の四国ほどの大きさがあり、その中に数少ない動物、たとえばサハラばば7頭だけと言ったのが現実です。

朝夕の動物の活動時間に合わせて、サバンナや砂地を埃を巻き上げてサファリカーが走り廻りますが、ドライバー兼ガイドの腕が良く、運が良くないと大物動物(肉食動物や上記数少ない動物、大群)は見ることが出来ません。

オロダミンのCFでお馴染みのマサイ族の村を見学しました。

マサイ族は2本の槍でラオンをたおすという勇敢な部族で、西洋化を嫌い、昔ながらの生活様式を守っています。ドライバーがおもむろに車を止め、マサイ族の観光担当者と交渉をします。

ドライバー曰く、“彼らははるばる日本からやって来た私の友達である。…”。

そして交渉が成立して、私達は彼らの村を見学することが出来ました。私達が見学出来たのはいわゆる観光マサイ族の村で、原始宗教のためか、写真を撮ると命を奪いかねないと信じているマサイ族ですが、その村では写真取りほうだい、牛フンと赤土で出来た家無料見学、女子学生等の訳の分からない歓迎の歌付き、はたして一行8名の見学科はHow much!

ちなみに、ケニアでのビール1本8シリング、コーラ3シリング、一ヶ月のガードマン・メイドの月給800シリングが相場です。1シリング=10円

金曜日の夜は5Z4SS 宮崎OMのお宅にて、ナイロビ在住のハムを招待していただき、我々の為にガーデンパーティを贈っていただきました。

パーティに参加した5Z4CT/MR/RT各OMからケニアのハムのアクティビティの話と聞くことが出来、JA-5Z4のハムのeyeball QSOは深夜まで続きました。

上のクイズの答：500シリング



ham radio

17.-19. 6. 1988
Friedrichshafen

Friedrichshafen.

今回も例年の如く ham Radio 88 の会場
の「レストラン」午後1時から集まります。

6月18日、土曜日です。

来られた方は食事といたる Eye ball QSO
下さいませ。

Wir treffen uns wieder auf der
Messe "ham Radio 88" in

Wann: 18. Juni 88 (Sa), ab 1300 MESZ

Wo: Gr. Restaurant in Messengelände

CQDL 4月号(1988年) 24頁以下

DARC-MITTEILUNGEN

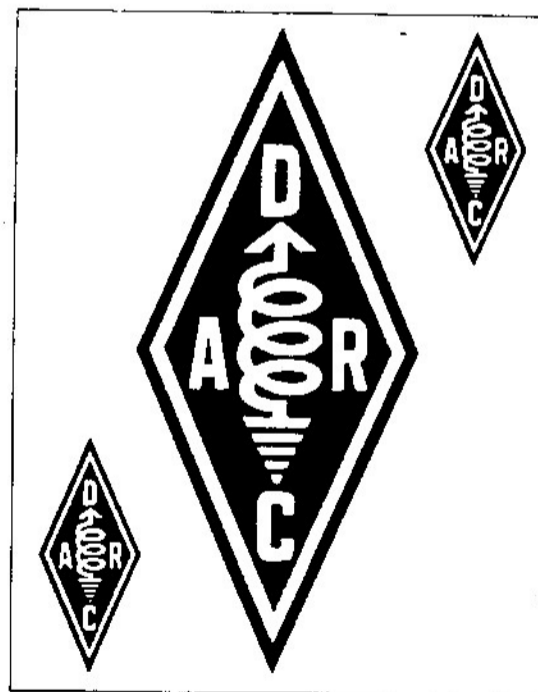
Die Raute und der DARC

Sehr lange und sehr oft ärgere ich mich schon über QSL-Karten, Briefbögen und andere Drucke unserer Mitglieder, die in allen möglichen und unmöglichen Variationen unsere DARC-Zeichen führen. Als Typograph habe ich natürlich einen Blick dafür, ob es sich beim benutzten DARC-Zeichen um das echte, schöne und, was viele nicht wissen, geschützte DARC-Zeichen handelt.

Auf Initiative und Mitwirkung unseres derzeitigen 1. Vorsitzenden DL1PE habe ich 24 richtige DARC-Zeichen von 15 bis 70 mm Höhe auf Barytpapier (hochweißes Spezialpapier für Reproduktionen) gedruckt und biete diesen Druck jedem DARC-Mitglied kostenfrei an, damit es sie ausschneiden und bei seinen DARC-Drucken benutzen kann.

Schicken Sie mir nur den letzten Adreßaufkleber von Ihrer cq-DL und einen adressierten und frankierten (0,80 DM) Rückumschlag (SASE), und Sie bekommen schnellstens den erwähnten Druck mit den 24 DARC-Zeichen zugeschickt.

Ich hoffe, daß dadurch bald nur noch richtige, schöne und sauber gedruckte DARC-Zei-



chen auf den QSL-Karten und anderen Drucken der DARC-Mitglieder zu finden sind.

Eberhard Warnecke, DJ8OT
Postfach 10 12 44, 5620 Velbert 1

皆様にはDLのQSL
カード印刷の際、
必ずDARCのロゴ
に目をはたきお寄せ
願います。

CQDL: 2月号から
利用してはどうか
です。

参考資料

deDF2CW